

様式 1

受付番号

平成 年 月 日

大阪府知事 様

新事業創出オープンイノベーション促進事業 企画提案公募

応募申込書

応募者	
企業名等	
代表者役職・氏名	印
所在地	〒
連絡窓口	
氏名（ふりがな）
所属（部署名）	
役職	
所在地	〒
電話番号 （代表・直通）	
F A X 番号	
メールアドレス	

様式 2

新事業創出オープンイノベーション促進事業 企画提案公募

企 画 提 案 書

記入日	平成	年	月	日
1 企画提案名				
2 応募事業者名				
企業名等				
3 見積額				
金		円（消費税及び地方消費税含む） ※消費税率8%で計算してください。		
4 企画提案書のアピールポイント 企画内容のアピールポイントを記載してください。記載欄は適宜拡張して使用してください。				

5 企画提案

※仕様書に定める下記の項目について、具体的に提案して下さい。

※A4 縦に記載し、不足の場合は行を拡張してください。

※各欄に 10pt の文字で記載してください。

※参考となる資料（補足資料）を適宜添付してください（A4、縦横自由）

I セミナー及びワークショップの企画・運営

提案1 セミナーの内容について、仕様書「1（2）事業の流れ」に記載した目的に沿って、テーマ、手法、規模、場所、講師、スケジュールなどを具体的に提案してください。各回によって複数提示可とします。

提案2 ワークショップの内容について、仕様書「1（2）事業の流れ」に記載した目的に沿って、テーマ、手法、規模、場所、ファシリテーター、スケジュールなどを具体的に提案してください。各回によって複数提示可とします。

提案3 セミナー及びワークショップに多種多様な業種から、第4次技術を用いた新事業創出に意欲的な事業者が多く集まるような募集や周知の方法を提案してください。

Ⅱ-① 支援企業の募集・選定

提案4 幅広い産業分野から新事業創出をめざす企業を数多く募ることができるよう、効果的な募集及び周知の方法を提案してください。また、審査を明確な基準のもとで行うため、応募企業の新事業創出に対する意識や熱意、新事業のコンセプトなどが確認できる応募様式（フォーマット）を提案してください。

【留意事項】

本事業は、企業全体で新事業創出に取り組む意欲を持った事業者の参画が非常に重要であることから、個人としての応募ではなく、経営者又は新規事業開発担当部署の責任者の同意を得た事業者単位での応募が得られるよう、募集方法や周知の表現を工夫してください。

セミナー及びワークショップに不参加であっても、応募は可とします。

仕様書「1（2）事業の流れ」で述べたとおり、企業の募集・選定は、2回に分けて募集しますので、留意してください。

なお、募集対象は、下記のとおりとします。

大阪府内で新事業の展開を予定している中小企業（※）で、府内に事業所を置く者

※中小企業等経営強化法（平成11年3月31日法律第18号）第2条に基づく

中小企業者

提案5 支援対象となる企業の審査について、審査員は、中小企業診断士、新事業担当経験者など、新事業創出についてのノウハウを有する人材を3名程度選定することとし、その具体的な審査員候補者を提案してください。

また、審査基準について、熱意、取り組み体制、事業プランの新規性や実現可能性といった観点などから、具体的な審査基準や審査のポイントを提案してください。

Ⅱ-② 企業単位のコンサルティング

提案6 企業単位のコンサルティングの内容がオープンイノベーションを通じた新事業の創出に繋がるよう、手法、コンサルタント、回数、スケジュールなどを具体的に提案してください。コンサルティングの形式は問いません。新規事業の創出に効果的だと思われるものを、自由な発想で提案してください。

Ⅲ-① 外部識者による助言

提案7 支援企業の事業プランに外部視点による助言を行い、最適なパートナー候補を見極めることのできる外部識者候補及び支援企業への助言体制について提案してください。支援企業が5者程度であることを鑑みて、原則2人以上とします。また、それぞれの外部識者候補について、プロフィール、実績、上記助言のできる根拠についても示してください。

Ⅲ-② マッチングコーディネート

提案8 パートナー候補となるシーズ企業を全国から開拓し、支援企業とのマッチングをコーディネートできるコーディネーター候補及び全国からシーズ企業を発掘する手法について提案してください。

支援企業が5者程度であることを鑑みて、原則2人以上とします。また、それぞれのコーディネーター候補について、プロフィール、実績、シーズ企業を発掘できる根拠についても示してください。

Ⅳ 生活者視点の取込みに係る設計・運営

提案9 生活者（＝顧客）の視点を取り入れることで、顧客ニーズを取り込んだビジネスモデルを構築できるよう、手法、規模、運営体制、生活者を参画させるための工夫、スケジュールなどを具体的に提案してください。各回によって複数提示可とします。

【留意事項】 実施回数は原則、支援企業5者に対し2回以上とします。

VI 事業全体の適切な管理運営

提案10 提案した事業計画を確実かつ効果的に実施する体制（スタッフ構成）や、全体スケジュールについて提案してください。

また、コンプライアンスや情報管理を的確に行う体制について提案してください。加えて、多くの中小企業の参加を促すための、ウェブサービス（ホームページ、SNSなど）や他自治体・商工会議所等支援機関との連携など、効果的な本事業の周知方法について提案してください。（ただし、本事業の広報のためのチラシ及びHP作成は必須とします。）活用するウェブサービスやホームページ、SNSなどについては、現在のものを継承しつつ、別の媒体に変更することも可能とします。また、本事業終了後はこれらの管理・運営を大阪府に引き継ぐこととしてください。

（6）府施策への協力について

※下記の設置・加入状況の有無について、「有」「無」のいずれかに○をつけてください。

公正採用選考人権啓発推進員の設置の有無 （ 有 ・ 無 ）

大阪企業人権協議会の加入の有無 （ 有 ・ 無 ）

おおさか人材雇用開発人権センター【C-STEP】の加入の有無 （ 有 ・ 無 ）

様式 3**新事業創出オープンイノベーション促進事業 企画提案公募****応募金額提案書**

事業者名	
------	--

提案金額合計	円 (消費税及び地方消費税含む)
--------	---------------------

※消費税率8%で計算してください。

内 訳 (※各項目は例示です。適宜修正してください)

①人件費	円
②講師等謝金	円
③会場賃借料	円
④チラシ等印刷費	円
⑤その他	円
合 計	円

○ 消費税及び地方消費税を含む金額で記載してください。

※消費税率8%で計算してください。

○ 積算内訳を別途添付して下さい。

様式 4

新事業創出オープンイノベーション促進事業 企画提案公募
事業実績申告書

業務名	発注者	実施年月	業務の概要	その他成果

上記については、事実と相違ありません。

事業者名 _____

代表者氏名 _____ 印

様式 5

共同企業体届出書

代表構成員	
大阪府知事 様 新事業創出オープンイノベーション促進事業に係る企画提案公募について、下記の者と合同で参加します。なお、参加にあたっては、代表構成員として各構成員を取りまとめ、大阪府に対する企画提案公募及び契約に係る一切の責任を負うものとします。	
所在地	
商号又は名称	
代表者職氏名	印
構成員 1	
大阪府知事 様 新事業創出オープンイノベーション促進事業に係る企画提案公募について、本届出書記載のとおり合同で参加します。なお、参加にあたっては代表構成員と連帯して責任を負うものとします。	
所在地	
商号又は名称	
代表者職氏名	印
構成員 2	
大阪府知事 様 新事業創出オープンイノベーション促進事業に係る企画提案公募について、本届出書記載のとおり合同で参加します。なお、参加にあたっては代表構成員と連帯して責任を負うものとします。	
所在地	
商号又は名称	
代表者職氏名	印

様式 6

新事業創出オープンイノベーション促進事業に係る業務委託

共同企業体協定書

(目的)

第1条 当共同企業体は、大阪府が発注する新事業創出オープンイノベーション促進事業に係る業務委託（以下「本件業務委託」という。）を共同連帯して受託することを目的とする。

(名称)

第2条 当共同企業体は、.....共同企業体（以下「当企業体」という。）と称する。

(事務所の所在地)

第3条 当企業体は、事務所を.....に置く。

(成立の時期及び解散の時期)

第4条 当企業体は、平成 年 月 日に成立し、その存続期間は1年とする。ただし、この存続期間を経過しても当企業体に係る本件業務の請負契約の履行後6ヵ月を経過するまでの間は解散することができない。

2 前項の存続期間は、構成員全員の同意をえて、これを延長することができる。

3 当企業体が大阪府との間で本件業務について契約できなかった場合には、当企業体は第1項の規定にかかわらず、大阪府が本件業務委託について他者と契約を締結した日に解散する。

(構成員の名称)

第5条 当企業体の構成員は、次のとおりとする。（支店の場合は支店名）

1 名称.....

2 名称.....

3 名称.....

4 名称.....

5 名称.....

(代表者の名称)

第6条 当企業体は、.....を代表者とする。

(代表者の権限)

第7条 当企業体の代表者は、本件業務委託の受託に関し、当企業体を代表して、次の権限を有するものとする。

- (1) 発注者及び監督官庁等と折衝する権限。
- (2) 代表者の名義をもって見積、入札、契約の締結、委託代金の請求及び受領に関する権限。
- (3) 入札及び委託代金の受領に関する復代理人の選任についての権限。
- (4) 当企業体に属する財産を管理する権限。
- (5) その他本件業務に関して必要となる一切の事項を執行する権限。

(業務分担額)

第8条 各構成員の業務の分担は、別に定めるところによるものとする。

2 前項に規定する分担業務の価格については、次条に規定する運営委員会で定める。

(運営委員会)

第9条 当企業体は、構成員全員をもって運営委員会を設け、本件業務委託の遂行に当るものとする。

(構成員の責任)

第10条 構成員は、本件業務委託の契約の履行に関し、連帯して責任を負うものとする。

(構成員の経費の分配)

第11条 構成員はその分担業務の実施のため、運営委員会の定めるところにより必要な経費の分配をうけるものとする。

(共通費用の分担)

第12条 本件業務の履行中に発生した共通の経費等については、分担業務の価格の割合に応じて運営委員会で定めるものとする。

(構成員相互間の責任分担)

第13条 構成員がその分担業務に関し、大阪府、第三者又は他の構成員に与えた損害は、当該構成員がこれを負担するものとする。

(権利義務の譲渡の制限)

第14条 構成員は、大阪府及び他の構成員全員の承認がなければ、本協定書に基づく権利義務を第三者に譲渡することはできない。

(受託途中における構成員の脱退に対する措置)

第15条 構成員は、発注者及び他の構成員全員の承認がなければ当企業体が本件業務委託を完成する日までは脱退することができない。

2 構成員のうち受託途中において前項の規定により脱退した者がある場合は、発注者の指示に従い本件業務委託を完成する。

(受託途中における構成員の破産又は解散に対する処置)

第16条 構成員のうちいずれかが受託途中において破産又は解散した場合は、残存構成員が共同連帯して当該構成員の分担業務を完成させるものとする。

(解散後のかし担保責任)

第 17 条 当企業体が解散した後においても、成果品につきかしがあったときは、各構成員は共同連帯してその責に任ずるものとする。

(協定書の定めのない事項)

第 18 条 この協定書に定めのない事項については、運営委員会において定めるものとする。

.....ほか.....社は、上記のとおり共同企業体協定を締結したので、その証拠としてこの協定書.....通を作成し、各通に構成員が記名押印し、各自所持するものとする。

平成 年 月 日

所在地.....

名 称.....

代表者.....[㊟]

所在地.....

名 称.....

代表者.....[㊟]

所在地.....

名 称.....

代表者.....[㊟]

様式7 (構成員が支店等である場合の代表者から支店長等への委任)

委 任 状

平成 年 月 日

大阪府知事様

所 在 地

商号又は名称

代表者職・氏名

印

私儀 _____ (職 氏名) _____ を代理人と定め、
新事業創出オープンイノベーション促進事業に係る委託契約に関し、下記の権限を委任いたします。

記

1. 共同企業体結成に関する一切の件
2. 共同企業体の代表構成員に権限を委任する件
3. 委任期間 自:平成 年 月 日 至:平成 年 月 日

(注)委任状の様式は自由であるので、この委任状でなくても良い。

様式 8-1 (代表構成員が代表取締役の場合)

使 用 印 鑑 届

平成 年 月 日

大 阪 府 知 事 様

〇〇××共同企業体

代表構成員

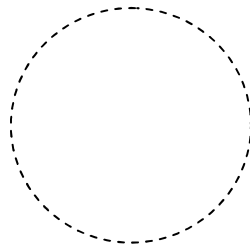
所 在 地

商号又は名称 〇〇 株式会社

代表者氏名 代表取締役 △△ △△ (実印)

私は、下記の印鑑を新事業創出オープンイノベーション促進事業に関し、次の事項について使用したいのでお届けします。

使用印鑑



1. 入札参加資格確認申請について。
2. 見積、入札、契約の締結に関する事。
3. 保証金又は保証物の納付並びに還付請求及び領収について。
4. 請負代金の請求及び受領について。
5. 復代理人の選任に関する件。

(注意事項)

本届は企業体の代表構成員のみ提出することになります。

様式 8-2 (代表構成員が受任者の場合)

使 用 印 鑑 届

平成 年 月 日

大 阪 府 知 事 様

〇〇××共同企業体

代表構成員

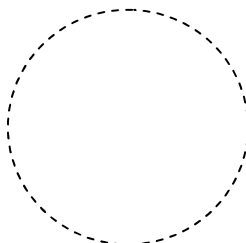
所 在 地

商号又は名称 〇〇株式会社 △△支店

役 職 氏 名 △△支店長 □□ □□ (印)

私は、下記の印鑑を新事業創出オープンイノベーション促進事業に関し、次の事項について使用したいのでお届けします。

使用印鑑



1. 入札参加資格確認申請について。
2. 見積、入札、契約の締結に関する事。
3. 保証金又は保証物の納付並びに還付請求及び領収について。
4. 請負代金の請求及び受領について。
5. 復代理人の選任に関する件。

(注意事項)

本届は企業体の代表構成員のみ提出することになります。

様式 9

誓 約 書

新事業創出オープンイノベーション促進事業に係る企画提案公募実施要項に規定する企画提案公募参加資格をすべて満たしていることを申告します。

必要な資格を満たしていないことが判明したときは、提案内容が失格となり、契約解除に伴う違約金の支払い、入札参加資格停止等の措置を受けても、異議を申し立てません。

大阪府知事 様

平成 年 月 日

受託者 所 在 地

商号又は名称

代表者職氏名

④

(共同企業体の場合は、代表企業が提出すること。)

様式 10

障がい者の雇用状況について
【常時雇用労働者の総数が 50 人未満の事業所が記入】

応募事業者名	
--------	--

障がい者雇用状況(平成29年6月1日現在)	
常用雇用労働者の総数(A)	人
常用雇用障がい者の総数(B)	人
雇用率($B/A * 100$)	%

様式 11 (元請用)

事業名：新事業創出オープンイノベーション促進事業

誓約書

私は、大阪府が大阪府暴力団排除条例に基づき、公共工事その他の府の事務事業により暴力団を利することとならないように、暴力団員及び暴力団密接関係者を入札、契約から排除していることを承知したうえで、下記事項について誓約します。

記

- 一 私は、大阪府の公共工事等を受注するに際して、大阪府暴力団排除条例施行規則第3条各号に掲げる者のいずれにも該当しません。
- 二 私は、大阪府暴力団排除条例施行規則第3条各号に掲げる者の該当の有無を確認するため、大阪府から役員名簿等の提出を求められたときは、速やかに提出します。
- 三 私は、本誓約書及び役員名簿等が大阪府から大阪府警察本部に提供されることに同意します。
- 四 私が本誓約書一に該当する事業者であると大阪府が大阪府警察本部から通報を受け、又は大阪府の調査により判明した場合は、大阪府が大阪府暴力団排除条例及び大阪府公共工事等に関する暴力団排除措置要綱に基づき、大阪府ホームページ等において、その旨を公表することに同意します。
- 五 私が大阪府暴力団排除条例第10条に規定する下請負人等を使用する場合は、これら下請負人等（ただし、契約金額500万円未満のものは除く。）から誓約書を徴し、当該誓約書を大阪府に提出します。
- 六 私の使用する下請負人等が、本誓約書一に該当する事業者であると大阪府が大阪府警察本部から通報を受け、又は大阪府の調査により判明し、大阪府から下請契約等の解除又は二次以降の下請負にかかる契約等の解除の指導を受けた場合は、当該指導に従います。

大阪府知事 様

平成 年 月 日

- ・所在地
- ・事業者名
- ・代表者

印

- ・代表者の生年月日